

パブコメ集計結果(宇宙太陽光)

1. 総数: 5件

2. 賛否について:

○賛成: 4件

○賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの: 0件

○反対: 1件

計 5件

(賛否の考え方)

- ・主旨に賛成の文意を含むものは全て賛成に判定。
- ・「賛成だが施策の改善見直しの意見のあるもの」は基本的には賛成だが、施策の実施にあたっての改善、見直し方策について記述されているものを集計。

(参考)

①賛成

- ・ 今後のエネルギー問題を考慮すると必要です。
- ・ 優先して進めるべきである。将来のエネルギー利用として、研究を進め、宇宙太陽光発電の実用化に向けて、次世代へ残す必要があると考える。
- ・ 予算の確保をするべき。CO₂ の 25%削減に取り組むなら必須の技術だと考えられる為。
- ・ 化石燃料に依存しない持続可能な社会を実現するためには、太陽光エネルギーの活用が必須であろう。現在、宇宙太陽光発電の分野で世界をリードしているのは日本である。化石燃料資源を持たない日本がこの分野の研究を進めることで、将来資源に関するイニシアチブを握る可能性がある重要な研究である。商業性のある実証実験の早期実現を求める。

②賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの

- ・ なし

③反対

- ・ アセスが必要。優先度低。理科年表によれば、太陽定数 1.37kW/m²、一方、地表でも例えば日射強度 0.8kW/m² 程度はある。(おける札幌。)打ち上げコストをかけてする意味が薄弱。メンテナンスもきわめて不利。夜間、曇天の利用率低下をいうなら、砂漠で実施すればよい。砂漠でもトラッキングのメンテナンスはかなり困難であるが。同じ衛星事業なら、宇宙からのオゾンホールの修復の研究をすべき。南極で発生し、中緯度帯で消滅するが、オーストラリア砂漠では皮膚がんが急増している。フロンや、NO_x が触媒になって増減する。